

平成 23 年度 総合クリーンセンター固化灰及び焼却残渣放射性物質濃度測定結果について

測定機関：日本環境株式会社 横浜事業所

測定方法：放射能濃度等測定方法ガイドライン（環境省）準拠

使用測定器：セイコー・イージーアンドジー株式会社製 SEG-EMS（ゲルマシステム）

オルテック社製 Ge 半導体検出器 GEM20-70（検出器部）

固化灰及び焼却残渣放射性物質濃度測定結果

単位：Bq/kg

試料採取日	試料種類	放射性 セシウム 134	放射性 セシウム 137	放射性 セシウム 合計	検出下限値
1月26日	固化灰	190	190	380	20
	焼却残渣	30	53	83	20

- ※ 固化灰とは、焼却した後の排ガスに含まれているダスト（ばいじん）を集じん器で捕集し、薬剤などと混ぜ合わせて固化したものです。
- ※ 焼却残渣とは、炉内で燃え残った砂や鉄分等が混ざった不燃物が炉底から排出されたものです。
- ※ 検出下限値とは、測定で検出できる最小の値であり、分析装置に充填する資料の密度等の影響を受けて測定ごとに異なる値を示します。
- ※ 放射性セシウムの合計が 1 kg あたり 8,000Bq を超える焼却灰等は指定廃棄物となり、通常の埋立処分はできず、特別な管理が必要となります。今回の測定より、固化灰で 380Bq/kg、焼却残渣で 83Bq/kg であるため、これまでと同様に通常の処分ができます。